



牧が丘

学校教育目標

- ◆自主 自主的に学習し生活する。
- ◆創造 発想を広げ創意工夫する。
- ◆奉仕 広い視野に立って、思いやりの心(愛)で行動する。



青春の汗と涙 ～芳賀郡市総合体育大会各種大会～

6月25日の陸上大会を皮切りに、6月28日・29日・30日にかけて芳賀郡市総合体育大会各種大会が開催されました。3年生にとっては最後の大会であり、3年間の集大成となる大会でした。

芳賀地区の各会場に分かれての同時開催だったため、それぞれの試合を応援する時間こそ限られてしまいました。それでも、3年間、苦楽を共にした仲間と勝利を目指して必死に競技する中村中の生徒達は、コートの中でひととき輝いていました。今大会は団体戦で県大会出場の権利を獲得する部はありませんでしたが、いずれの部もあと一歩というところでの惜敗でした。多くの保護者の方々も応援に駆けつけて下さいました。そんな中、コートで泣き崩れる生徒達を見て、保護者の方々と一緒に涙を禁じ得ることはできませんでした。

プレーが上手くいなくて悩んだとき、レギュラー争いの中で悩んだとき、友達や指導者との意見の食い違いで悩んだとき、そのような悩みを乗り越えた3年生は、確実に心も体も成長することができたと確信します。そして、それらの経験は、必ずや生涯の糧となるはずです。

「やり切った」という言葉がふさわしい芳賀郡市総体。大会で引退する3年生に心からの拍手を送ると共に、感動の涙を共有できたことに感謝します。



2-1の接戦に涙をのんだサッカー部



目の前に県大会が見えたバレー部



県大会を目前に涙をのんだ女子テニス部



強豪校に果敢に挑んだ男子卓球部



個人戦・ダブルスで県大会出場の女子卓球部



一球入魂のプレーを見せた野球部



あと一歩で県大会を逃した男子テニス部



勇猛果敢に挑んだ特設剣道部



創設間もない中奮闘したバドミントン部

全国大会への切符

7月6日・7日に、第8回全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会が佐野市清酒開華スタジアムで実施されました。この大会は、全国大会に繋がるもので、多くの中学生アスリートが全国標準記録を目指す大会です。中村中から出場した生徒達も、一心に全国標準記録の突破を目指して全力で競技に取り組みました。

その結果、共通男子砲丸投げで仙波龍成さん・谷島奏和さん、共通男子110mハードルでマロンガ・エイズさん、3年男子100mで上野星七さんが見事標準記録を突破して、全国大会への切符を手に入れました。全国大会は、8月17日～20日に福井県で行われます。全国の舞台での中村中生徒の活躍を期待します。

【子育て談話室】 家庭で育む「生きる力」

日本の教育の目標に掲げられている「生きる力」とはどのような力なのでしょうか。読み・書き・そろばんと言われる生きるための基礎となる学力も、もちろん重要です。しかし、社会で生きていくために必要な力は、「学力」ですと答える方は多くはないはずです。職業や社会での立ち位置にもよりますが、「会話力」「人と上手に付き合う力」「発想力」「忍耐力」などを揚げる方が多いのではないのでしょうか。これらの「生きる力」は学校でも養うための取組をしております。しかし、学ぶべきカリキュラムが決められている学校では、これらの力を養うには限界があります。

それ故、長い時間を家庭で過ごす夏休みに、意図的に生きる力を養うことは、大切な我が子の長期的な幸せに重要であると考えます。では、何をすればよいのか？

参考例として、〈より多くの人と交流する〉〈野外活動などの体験活動をする〉〈本や新聞などを読む〉〈ボランティア活動をする〉などがあるかと思います。一見、遠回りに見える活動も、長い人生を豊かにしてくれるものかもしれません。



授業参観・保護者会お世話になりました

7月3日(水)の授業参観では、多くの保護者の方のご参観をいただき、ありがとうございました。以前にもお伝えしたとおり、本校では、自分の考えを積極的に表現できる生徒の育成を目指し、研究しています。どの学級でも生徒が主体的に学習に取り組む姿がご覧いただけたことと思います。



ネット利用を再考する

7月3日(水)のPTA講演会において、「ネット時代の歩き方」と題して、ネット利用アドバイザーの館野進一様のお話を聞きました。SNSやネットによる様々なトラブルについてお話いただきましたが、特に取り返しのつかない事案等は衝撃的でした。夏休みを機に、もう一度ネット利用について家族で話し合っただければと思います。



地域とともに生きる

7月2日(火)の放課後に中八宮大神輿の方々、御神輿の担い棒を御神輿に縛っていただいたり、生徒に御神輿の担ぎ方をご指導してくださいました。伝統的行事を地域の方に教えていただくということは、地域の活性化にもつながり、やがて生徒の中には、この伝統を引き継いでくれる生徒もいることでしょう。残念ながら7月14日(日)は雨のため生徒の参加はできませんでしたが、7月27日(土)の真岡夏祭りでは、生徒たちの元気あふれる神輿担ぎが見られることが楽しみです。

